

北海道科学大学と
北海道立総合研究機構による協働セミナー

北の暮らしを支えるモノづくり

健康・医療・暮らしのための機器開発

雪国である北海道にお住いの方々の暮らしが、より豊かになりますように・・・と、研究のプロ達が思いを寄せて開発したりハビリ・福祉機器の一部をご紹介します。北海道における暮らしを支えるモノづくりの現状と展望について皆さまと一緒に考えます。

2019
11/12 Tue

16:00 > 18:00

場所

北海道科学大学 A棟1階 A106講義室
〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

定員
200名

基調講演

健康・医療を支えるモノづくり

北海道科学大学
北の高齢社会アクティブライフ研究所

所長 田中 敏明

生活を支えるモノづくり

北海道立総合研究機構
産業技術研究本部 工業試験場

主査 中島 康博

パネリスト講演&パネルディスカッション

北海道科学大学

北の高齢社会アクティブライフ研究所 研究員 宮坂 智哉
北の高齢社会アクティブライフ研究所 研究員 加藤 士雄

北海道立総合研究機構

産業技術研究本部 工業試験場 主査 万城目 聡
建築研究本部 北方建築総合研究所 主査 村田 さやか

パネルディスカッションテーマ

「北の暮らしを支える医工学」

対象：一般市民、技術者、研究者、学生など

主催 北海道科学大学 / 北海道立総合研究機構

後援：北海道新聞社 / 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 協力：北海道医療機器関連産業ネットワーク

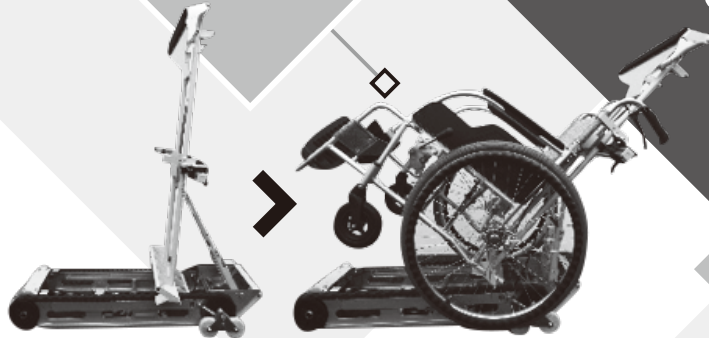
北海道科学大学と 北海道立総合研究機構による協働セミナー

北の暮らしを支えるモノづくり -健康・医療・暮らしのための機器開発-



腰のあのギックリは
突然やってきますよね。
どんな作業もこれがあれば
どんとこい!
腰楽スーツ「タスカル」

もし家族の1人が
車いす生活で、もし火事に
なってしまったら…1名の介助が
あれば車いすに乗ったまま
階段下への避難が可能
「車いす用階段避難車
チェアキャリダン」



研究者たちが
開発した機器を実際に

見て さわって 体験
できます!

なんと入浴中の
呼吸と心拍を検知できる
「センサ付き浴槽」これで離れて
住むおじいちゃん・
おばあちゃんのお風呂
タイムも安心。



雪かきって身体に
負担がかかりますよね…
でもこれだと雪かきが
好きになりそう
「UDスコップ」



セミナースケジュール

基調講演

「健康・医療を支えるモノづくり」 北海道科学大学 北の高齢社会アクティブライフ研究所 所長 田中 敏明

「生活を支えるモノづくり」 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場 主査 中島 康博

パネリスト 講演

「高齢者施設入所者の
避難方法の検討」や「病
院と自宅をつなぐ遠隔リ
ハビリテーション」など
について、研究のプロた
ちから簡単にご紹介い
たします。

■司会
北海道科学大学 北の高齢社会アクティブライフ研究所 副所長 敦賀 健志

■パネリスト
北海道科学大学
北の高齢社会アクティブライフ研究所 研究員 宮坂 智哉
北の高齢社会アクティブライフ研究所 研究員 加藤 士雄

北海道立総合研究機構
産業技術研究本部 工業試験場 主査 万城目 聡
建築研究本部 北方建築総合研究所 主査 村田さやか

パネル ディスカッション

パネルディスカッションテーマ
「北の暮らしを支える医工学」
■司会・パネリスト 同上

お申込み

お名前とお電話番号を記載の上、
✉ kenkyu@hus.ac.jp

または

☎ 011-688-2241

までお知らせくださいますよう
お願いいたします。

主催 北海道科学大学/
北海道立総合研究機構

後援 北海道新聞社/
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

協力 北海道医療機器関連産業ネットワーク